

柏刈農楽校 小学校総合学習応援プログラムについて

- 柏刈農楽校とは・・・
柏崎・刈羽地域の「農」の魅力のPRと農業農村振興の取り組みへの理解促進を目的として、新潟県柏崎地域振興局農業振興部が平成23年度から活動を行っています。
今後も、小学校への出前講座や農業イベントへの広報パネル展示、その他HP等で広報活動を行い、「農」について皆さんとともに学び合う場にしていきたいと考えています。
- 小学校総合学習支援プログラム（出前講座、体験交流）
小学校の総合学習の時間をお借りして、農業の魅力や土地改良事業の歴史、田んぼに必要な水について等、農業の大切さを子どもたちに知ってもらおう取組を考えています。

テーマ

- 1 **お米作りに必要な水はどこからくるの～農業水利施設の役割～**
どこから水がやってくるのか、どんな歴史があって今のようにお米作りができるようになったのかを座学や現地研修で学びます。なお、現地研修については鯖石川方面のコースと別山川方面のコースがあります。
- 2 **藤井頭首工（ふじいとうしゅこう）について学ぼう**
昔の人の努力を知ることによって今のようにお米作りができるようになった歴史が学べます。
- 3 **水辺の生き物に親しむ～田んぼの生きもの調査～**
田んぼや農業用の水路にはいろいろな生きものが住んでいます。
いきものと共存するにはどのような環境が必要なのか学べます。
- 4 **ほ場整備って何？～大きな田んぼができるまで～**
建設機械や測量機器に触れることで建設現場の「仕事」について学べます。
大きな田んぼが必要な理由を考えることで今の農業について学べます。

- ◆ 講師は振興局および関係機関の職員です。
- ◆ 対象は4～6年生を予定しています。
- ◆ 時間は1時限～半日程度です。
（希望があれば要望する時間にお応えします。）
- ◆ 現地研修を希望する場合はスクールバスの手配をお願いします。
スクールバスの手配がつかない場合は早めにご相談下さい。
- ◆ 現地研修を希望する場合は準備の都合がありますので5月20日までに連絡くださるようお願いします。
- ◆ 1～4のテーマが設定されていますが、詳細については個別に相談しながら決定します。
- ◆ 上記テーマ以外の内容を希望の場合は、関係機関等と相談しながら決定します。
- ◆ 本取組の実施は、原則として各学校年1回とさせていただきます。

1 お米作りに必要な水はどこからくるの～農業水利施設の役割～

柏崎・刈羽地域のおいしいお米作りに必要な、「ためる」「取り入れる」「分ける」「はこぶ」「ながす」農業水利施設の役割を学びます。

◆対象の学校：柏崎・刈羽地域の全学校

◆対象の学年：4～6年生

① 現地研修

◆開講時期：5～8月

◆場所：現地（バスによる現地見学）

◆時間：半日程度

② 座学研修

◆開講時期：通年

◆場所：小学校教室

◆時間：1時限程度

2 藤井頭首工（ふじいとうしゅこう）について学ぼう

鯖石川の水を北鯖石地区や田尻地区などの田んぼに届けるための施設で、直江兼継によってつくられました。現在は鉄やコンクリートで作られた頑丈な施設ですが、昔は木や石などでつくられていたため、洪水で何度も流されてしまいました。藤井頭首工ができる以前の農業や、施設をつくった先人の努力や苦勞を学ぶ授業です。

◆対象の学校：柏崎・刈羽地域の全学校

◆対象の学年：4～6年生

◆開講時期：通年

◆時間：1時限程度

◆場所：小学校教室

3 水辺の生き物に親しむ～田んぼの生きもの調査～

土地改良事業（水路の整備や田んぼの整備）等の工事が行われると、周辺の生態系は大きく変化します。工事の前に、田んぼや水路にどのような生き物が生息しているか、それらの生き物が生きていくためにはどうしたらいいのか、一緒に考えます。

◆対象の学校：柏崎・刈羽地域の全学校（特に土地改良事業を行う予定の地域）

◆対象学年：4～6年生

◆開講時期：5～8月

◆時間：半日程度

◆場所：現地（田んぼ等）

4 ほ場整備って何？～大きな田んぼができるまで～

田んぼを大きくすることで、米づくりがどのように変わるのかを学びます。また、ほ場整備の工事現場を見学し、建設機械や測量機器に触れることで、建設現場の「仕事」について学びます。

◆対象の学校：柏崎・刈羽地域の全学校（特にほ場整備の工事現場付近の小学校）

◆対象学年：4～6年生

◆開講時期：5～10月

◆時間：半日程度

◆場所：現地（工事現場）

※工事現場は柏崎市宮平地内と柏崎市矢田地内を予定しています。

※工事の進捗状況を見ながら開講時期を相談させていただきます。

※ 現在上記のテーマを考えていますが、「農」についてこんな授業をしたい」といったご意見がありましたらアドバイスをいただくと幸いです。